



【感染症だより】

～インフルエンザについて～

例年よりだいぶ早く、市内一部でインフルエンザが始めました。例年では12月ごろから流行し始めますが、今年は8月中から出てきています。このまま流行期に入らないことを祈るばかりですが、手洗い、うがい、早寝、予防接種、休日はゆっくり過ごすなど予防に努めましょう。

インフルエンザの予防接種は任意接種ですが、一般的に10月ごろから始まります。インフルエンザワクチンを接種すると、1-2週間で抗体が上昇し始め、1か月後までにピークに達します。3-4カ月が過ぎると徐々に低下してきますので、ワクチン効果は接種後2週間から3-6か月間と言われています。例年ですと、11月下旬から3月上旬くらいまでが流行期間ですので、遅くとも年内には2回の接種を済ませると良いでしょう。インフルエンザワクチンを接種しても、インフルエンザに罹患することはしばしばありますが、接種しておくことで、発熱期間が短縮し、重症化・死亡率も接種していない人に比べて非常に少なくなります。インフルエンザワクチンは生後6カ月から接種可能ですが、それ以前で接種出来ない月齢の方は、ご家族が接種することで赤ちゃんに移さないようにすると良いでしょう。

～RSウイルス感染症について～

8月に引き続き9月に入ってから猛威を振っているのがRSウイルスです。通常であれば秋から冬にかけて流行しますが、今年は夏から流行しています。乳児期はとくに咳と発熱がひどく、気管支炎や肺炎になることがあります。顔色が青白い、いつもの半分も哺乳出来ない、咳き込んで毎回吐いてしまう、眠れない、息苦しそう、などの症状がある時は早めに受診しましょう。

表：8月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	手足口病	118
2	胃腸炎	58
3	RSウイルス気管支炎	51
4	ヘルパンギーナ	21
5	溶連菌	20
6	突発性発疹	5
7	アデノウイルス	4
8	インフルエンザA	1
8	おたふくかぜ	1

★病児保育室あんずからのお知らせ★

入室予約は前日からとなっておりますが、未受診の方はお受け出来ません。入室された方どうしの病気の感染を防ぐためですので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

文責： 清水マリ子

